

■パキスタン：中央アジア・南アジア連系線プロジェクト、中国企業が入札

2017年8月3日付の地元紙によると、パキスタン政府は、中国の大手変電機器メーカー Tebian Electric Apparatus (TBEA、中国名：特変電工股份有限公司) が、タジキスタンとアフガニスタン、パキスタン間の約 750km を送電線で結ぶ CASA-1000 プロジェクト (Central Asia South Asia Electricity Transmission and Trade Project) に入札したと発表した。このプロジェクトは、豊富な水力発電によって余剰電力を抱えるタジキスタンと、慢性的に電力が不足しているパキスタンを送電線で結ぶものである。TBEAはCASA-1000プロジェクトの一環として建設される交直変換所の工事にも応札し停る。既に技術提案面の入札は完了しており、8月中旬には工事費の入札が募集される。イスラム開発銀行は3,500万ドルの支援を表明しており、今後も支援を拡大することになっている。